



ばんり

市政報告 ～万里の道も一歩から～

第53号（令和5年夏号）

6月議会が終わりました

6月6日～20日の日程で、請願、条例、補正予算の議案審議をしました。条例審査の主なものは、パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度の導入に併せた「市職員の勤務時間・勤務条件に関する条例」、「市営住宅の設置及び管理に関する条例」の一部改正でした。

また、今回一般質問に登壇したのは過去最大の20人、私は質問時間が残っておらずできませんでした。議員1人に与えられた質問時間は年間60分、9月議会から翌年6月議会までの4回の定例会で質問ができますが、質問したいことが多すぎる私にとっては全く足りないです。

請願審査は・・・

改正道路交通法により、自転車利用者の全てにヘルメットの着用が努力義務となりましたが、ヘルメットを着用している人は多くありません。

「自転車ヘルメットの購入費助成の実施を求める請願書」は、経済的にためらう家庭があるため助成を求める内容でしたが、まずは着用率が低い原因を整理し、対象者等の助成内容を精査すべきという意見や、交通安全啓発活動に重点を置き、近隣市が実施している助成制度の効果等を見極めた上で判断すべき等の意見が多く、否決されました。



補正予算は・・・

「物価高騰対策のうち、生活者支援として75歳以上の高齢者に3千円をチャージしたギフトカードの送付で約2億円、市立の保育施設や学校給食費に係る食材物資価格の高騰分を公費で負担、事業者支援では、市内店舗応援・キャッシュレス決済ポイント還元事業や、農業・畜産・水産事業者に対して

補助を行います。

また、教育総務費の「いのちと心サポート事業」の報償費に約86万円は、公平性・中立性のある調査が必要として、第三者的な立場で弁護士や臨床心理士等の専門家を配置するもので、次年度以降は当初予算に計上されます。

会派視察では・・・

帯広市では、移住促進の取り組みと19市町からなる十勝圏複合事務組合を視察。帯広市は住みよさランキング道内1位、主な要因は人口当たり飲食店数全国1位、利便度は全国10位です。移住促進の取り組みで注目したのは移住就職応援プラン「Biz Loca Tokachi」、市が転職サイト「ビズリーチ」のようなマッチングをしていました。



翌日は、全国地方議会サミット2023が開催された早稲田大学大隈記念講堂へ。テーマは、「変わる社会・デジタル・あたらしい民主主義～激変する時代に対応する社会基盤としての議会を実践する～」です。

その中で、都城市のマイナンバーカード交付が令和5年5月末で96%という報告に驚愕しました。

普及促進戦略は、申請しやすい環境の整備、利活用の促進、効果的な広報です。申請しやすい環境として、企業や運転免許センター、ハローワーク、介護施設、学校等への出張申請補助（延べ2,500回実施）、1人からでも自宅に訪問して補助するため専用車両を導入しました。利活用の推進として、電子母子手帳の他、300もの手続きをオンラインで申請できるようにしました。



北海道別海町議会では、各議員の一般質問について全議員で改善するための討議を実施、原稿が練り上げられ、論点が整理でき、質問が明確になり、政策に繋げやすくなります。

北海道鷹栖町は、議会に興味を持って、理解を深め、参加してもらうため、目を惹くチラシの発行や質問前に動画を作成して発信、傍聴ガイドブックの発行、一般質問の通信簿等です。よい評価を受けた質問は委員会の研究テーマに設定、議員間討議を経て政策提言をすること。どちらの議会も、議員の一般質問を議会で共有し、政策に繋げていく取り組みで、1人の声を議会の声にするには、とても大きな影響力になります。大変刺激を受けたサミットでした。

加古川市議会 創生加古川 **木谷万里**

(お問合せ先) 〒675-0013 加古川市野口町二屋 TEL 079 (439) 4594

公式サイト (ブログ毎日更新中) <https://kitanimari.com>